

令和2年2月25日

独立行政法人 大学入試センター  
理事長 山本 廣基 様

一般社団法人日本地質学会  
会長 松田 博貴

### 令和2年度大学入試センター試験の地学関連科目に関する意見書

日本地質学会は、過去5年間にわたり、大学入試センター試験の地学関連科目の問題および得点調整に関して、それらが適正に行われているかを検討し、その都度、意見や改善に向けた要望を大学入試センターに申し入れてきました。本年に実施されました令和2年度大学入試センター試験（本試験）の地学関連科目に関して、以下のような意見を申し入れ致します。

（1）理科①の「地学基礎」においては基礎的な問題が出題されており、適正かつ良質な問題であったと考えます。

（2）理科②の「地学」においては、思考力を必要とする、良質な問題であったと考えます。しかしながら、「地学」の平均点は39.51点で、平均点が最も高かった「物理」との差は21.17点にも達し、他科目に比べてかなり低い得点となりました。問題作成にあたっては、平均点が6割程度となるように留意されているかと思いますが、過去5年間にわたり、平均点が低い状態が続いており、また、この4年間は継続的に低下しており、本学会としましては看過できない状況にあるとの認識を持っております。次年度は大学入試センター試験に代わって、新しい試験（大学入学共通テスト）となりますが、引き続き、問題・配点等の工夫により、「地学」の平均点が他科目に比べて低くならないようにしていただきたく申し入れます。